



高輪だより

平成28年5月号

港区立高輪幼稚園
園長 新山 裕之

<子どもたちの成長を願うこいのぼり>

先日、花いっぱい活動の際に高野山の大きなこいのぼりを見てきました。風を受けて泳ぐ姿は何度見ても迫力満点でした。今年も、それぞれの学年の発達に応じたねらいをもって、こいのぼり作りをしています。こいのぼり自体が、直接子どもたちの成長を願うものであり、家族を表して興味をもちやすく、色や形などがはっきりしていて取り組みやすい教材と言えます。

<やってみたい!と思うからこそ>

5歳は3人組で友達と簡単な相談(模様やその配置、色などを決める)をして、実際にそれを協力して作る初めての経験をしました。4歳と3歳は個々の取り組みです。思い思いにシールを貼っていつの間にか模様ができていくうれしさを感じる3歳。のりを使って模様を考えて貼って仕上げる4歳とは、実際の活動やそこで経験させたい内容も違います。しかし、いずれもやってみたい!と自分の意志で取り組み始めたいようになるように、教師は周到な仕掛けや教材の準備をします。楽しく、やってみようと思える自由で安心できる環境こそが自発性を促します。そのために、子どもたちが帰った後の準備が大事なのです。

<熊本へ思いを届けよう>

東日本大震災以来、防災面でも地域のつながりが大事と言われる、PTAの存在価値が高まっています。PTAは子どもを介して始めて地域の大人同士が組織的なつながりを持ち、我が子の育ちから地域の子どもの育ちに意識が広がる機会でもあり、幼稚園のPTAは地域の要となる組織と言えます。8月には、全国国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会の全国大会が熊本で予定されています。開催が危ぶまれますが、先日から熊本へ届けようと募金も始めました。一日も早い地震の収束と熊本の子どもの穏やかな日々を祈りたいと思います。

高輪の 二十四節気

・・・皐月(さつき)・・・

立夏(5日)・・・初夏の風を受けてこいのぼりが泳ぎます・・・

小満(21日)・・・園庭の緑がぐんぐん膨らみます・・・

5月5日はこどもの日です。子どもたちの健やかな成長を願い園庭にこいのぼりが泳ぎます。伸び上って見上げる子どもたちは、まさに成長する存在です。目を下にやると、園庭は今花いっぱいのうれしい季節を迎えています。今年もツツジの花の蜜を吸うと甘いこと、つぼみを包む茶色い皮がネバネバしていてくっつくことも教えました。身近な自然には遊びの種が眠っています。



高野山のこいのぼりは圧巻の迫力!



3歳児は自分のこいのぼりを作って大満足



4歳児は上手にのりを使ってうろこを貼って...



5歳児は作ったこいのぼりを園庭にあげました



熊本地震支援の募金を集め、届けます